

## JFW JAPAN CREATION 2015 開催概要

# JFW JAPAN CREATION 2015

- ◇ 日時 : 2014年11月5日(水)~6日(木)(10:00-18:00)
- ◇ 会場 : 東京国際フォーラム ホール1(3,000 m<sup>2</sup>)
- ◇ 来場者 : パイヤー及び招待者、業界関係者、学生
- ◇ 入場料 : 当日 2,000円、事前登録・学生割引 1,000円
- ◇ 後援 : 経済産業省

独立行政法人中小企業基盤整備機構

独立行政法人日本貿易振興機構 (JETRO)

一般社団法人日本アパレル・ファッション産業協会

日本繊維輸入組合 日本繊維輸出組合



JFW Japan Creation (JFW-JC)は、全国の繊維産地・企業が一堂に集結する国内唯一の繊維総合見本市として、今年も東京国際フォーラムで開催する。近年、認知度の高まった PTJとの併催効果により、昨年は両展合わせて約20,000人の来場者があり、今回も多く来場が見込まれる。また、出展申込みは今回も既定のキャパシティを超え、多くのウェイトニング出展者を抱える事となった。



### □ 出展状況

ゾーン	申込件数	総参加企業数	小間数
テキスタイル (国内)	51	158	107.6
テキスタイル (海外)	12	41	41
繊維関連・製品	5	9	12
皮革・毛皮	5	40	43.8
服飾資材	9	19	14
Media Stand	2	2	1
合計	84	269	219.4

\* 海外出展者: 韓国 1件 19小間、台湾 5件 19小間、中国 2件 2小間、タイ 1件 1小間

【新規・復活出展者】11件(31社)16小間

国内: ㈱匠の夢、東レ合織クラスター 環境配慮型素材分科会、加賀市織物協同組合(4社)、

丹後織物工業組合(4社)、栃尾織物工業協同組合(12社)、(有)野島刺繍、八田経編(株)、

海外: Grand Fashion Textile(Shanghai) Co., Ltd./China、慶尚南道.(KOFOTI)/Korea (4社)、

MOZARTEX CO.,LTD./China、TRI OCEAN TEXTILE CO.,LTD./Taiwan

## □ トレンド&インデックス・コーナー

毎回、趣向を凝らした施工が話題となる注目のコーナー。今回は9月の「THE Japan Observatory」 at Milano Unica、10月の Intertextile 上海「Japan Pavilion」と同様に、天井部分に軽量ボードを多用し、壁面パネルをくぐって別シーンへ切り替わるコンパクトな空間を演出した。今回は会場側の都合により、従来トレンドコーナーを設置していたロビーギャラリーが使用不可の為、PTJ 来場者も自由に入れる JFW-JC 会場入口に設置。例年より狭いスペースとなる為、イメージと導線確保のバランスを考慮した設計となっている。

\* 展示点数：トレンドコーナー 576点 (JFW-JC: 294点、PTJ: 282点)

JFW-JC インデックス・コーナー 175点 (国内: 119点、海外: 59点)



## □ 関連プログラム

### ■ Forum (セミナー)

第一線で活躍する講師陣が日本のテキスタイルやファッション、マーケットの最新情報やテーマに沿った解説を語る“Forum”。今回も旬な話題をテーマに計4本を実施。

### 【11月5日 14:00～】「これが日本のワザとクオリティー」

そのほとんどが海外流出してしまったアパレル製造業。国内で売られる「メイド イン ジャパン」は数パーセントでしかありません。そのなかで「最高の品質をめざす」ソーイングファクトリーが存在します。一方、アパレル業界で品質管理の第一人者といわれるプロ中のプロがいます。そんな品質を追究するお二人に映る「ファッションの昨日・今日・明日」とは、どのようなものでしょう。

【講師】辻 庸介氏 (株)辻洋装店 代表取締役社長、東京婦人子供服縫製工業組合 理事長)



#### 《講師略歴》

1963年に文化服装学院師範科を卒業し、後藤洋裁所を経て、実家の辻洋装店に入社。81年には東京山手ファッション学院学院長、91年に(株)辻洋装店代表取締役に就任した。服装健康保険組合理事のほか、東京婦人子供服縫製工業組合理事長、日本アパレルソーイング工業組合連合会副会長、公益財団法人モラロジー研究所東京協議会会長などの役職に就いている。

【講師】山下 隆氏 (株)オンワード樫山 品質管理部部長)



【講師略歴】

1982年、(株)オンワード樫山子供服部に入社。88年にデザインパターンシステム部係長、95年に生産本部品質管理部課長、05年に同部長。社外では、日本アパレル・ファッション産業協会コンプライアンス委員会品質管理小委員会委員のほか、同環境対策委員会副委員長、同TC133部会委員、経済産業省子ども服の安全性に関するJIS開発委員会委員、日本ファッション産業協議会高付加価値国産商品認証事業戦略委員会委員に就く。(2014年9月現在)

## 【11月5日 16:00～】「“定点観測”34年で見えたトレンド変化」

「アクロス」は、1977年設立のパルコのファッションとカルチャーのシンクタンクです。1980年から毎月実施している東京の若者とファッションを観察・分析する「定点観測」は400回を迎えました。コンセプトは「ストリートファッション・マーケティング」。生活者のリアルな姿を捉えることにこだわり、「ひと」×「モノ」×「街・場所」をカルチュラルスタディーズの観点から観察・分析しています。

【講師】高野 公三子氏 (株)パルコ『WEB アクロス』編集部 編集長)



【講師略歴】

1992年、株式会社パルコに入社。マーケティング誌「アクロス」で若者とファッションを観察・分析する定点観測を続け、マーケティング分析に携わる。2000年創刊の「WEBアクロス」編集長に就任。文化学園大学非常勤講師。共著に「ジャパニーズデザイナー」「ファッション業界がわかる本」(ダイヤモンド社)。

## 【11月6日 11:00～】「エコを加味した機能素材のトレンド」

時々刻々と進化を遂げる機能性テキスタイル。アクティブスポーツの世界では、テキスタイルが記録に一役も二役もかっています。機能性テキスタイルの進化はスポーツだけに限りません。最近では、環境にやさしい機能開発も話題となっています。今回の JFW-JC に出展している台湾紡拓会では2000年に「台湾の機能性織物試験認証制度」をスタートし、消費者やバイヤーが機能性織物を識別できる制度をめざしています。そうした機能性テキスタイルの歩みや将来展望について語っていただきます。

【講師】楊 曉琴氏 (台湾テキスタイル連合会 事務局次長)



【講師略歴】

紡拓会(台湾テキスタイル連合会)の副秘書長と市場開発部部長を兼務し、繊維業界では20数年のキャリアをもつ。世界の繊維産業における推移と戦略等を研究し、多くのシンポジウムに参加。多くの台湾政府による大型プロジェクトで責任者を務めるなど、台湾繊維産業の世界市場開発に尽力している。

## 【11月6日 14:00～】「Milano Unica で得た日本の実力」

さる9月に開かれた「ミラノウニカ」(Milano Unica)、ヨーロッパ以外の国としては初めてとなるジャパン・パピリオン「The Japan Observatory」が特設され、話題となりました。いま、ファッション界ではCOOL JAPAN

を筆頭に海外市場へのアプローチが本格化しています。そうしたなか、同見本市の主催代表から「機能素材や伝統技術をもち、イノベーションはもとよりクリエイションや洗練がある」といわれるのが日本のテキスタイルである。いわばファッション界のフロントランナーともなる「Jテキスタイル」の実力を語っていただきます。

【講師】貝原 良治氏 (カイハラ株式会社 代表取締役会長、JFWテキスタイル事業 運営委員長)



【講師略歴】

1965年に株式会社八木商店(現ヤギ)入社し、70年には貝原織布株式会社入社。90年に代表取締役社長、2003年代表取締役会長、06年にはジャパン・クリエイション実行委員長、07年に内閣府から地域活性化応援隊に選定され、同年、日本綿紡工業組合連合会の理事長、08年に日本ファッション・ウィーク推進機構理事、12年、日本シーズ協議会理事長、13年には旭日小綬賞を受賞。

【講師】武藤 和芳氏 (日本繊維輸出組合 研究員)



【講師略歴】

1969年産定株式会社入社。主に欧州からの高級服地の輸入を担当し、国際部部长、常務取締役国際部統括部長兼貿易部統括部長等を歴任し、2012年1月退職。同年、Muto Planning を設立し、代表に、中小繊維企業の海外販売戦略等の問題点の調査、販売促進強化のための支援を、日本繊維輸出組合研究員、JFWテキスタイル事業委員、Japan India Fashion Forum委員、12年度・13年度JETRO国内コーディネーター。

## ■ 産学人材育成コラボレーション 8th『FORM PRESENTATION』

—Textile Theme:「ウールの進化・3」 —Fashion Theme:「Urban Military」

テキスタイルへの深い知識をもち、そこからクリエイティブなデザイン発想力をもつ人材を輩出する事を目的とした産学連携事業。今年度は、昨年に続き日本を代表する毛織物企業“ニッケ”に協力を依頼し、明日のクリエイターを目指す学生との協業による、ウールの新しい価値創造を目指します。

ファッション・テーマは「Urban Military」。JFW Textile View2015AWの中から「アートフル コラージュ」のカラーを連動させ、ミリタリーやワーキング・ウェアからインスパイアされたアイデアを基に、マスキュリン&フェミニン・テイストを Mix したニュー・フォルムを公募(応募数 13 校 42 グループ)。審査を通過した 9 校 9 グループ(ガイドブック P16 参照)は産地へ赴いての研修会やオリジナル素材のノウハウの習得、及び Form(製品)迄を制作し、業界のプロが集まる JFW-JC に展示し、学生自从来場者にプレゼンを行います。

≪『8th FORM PRESENTATION』 応募カテゴリー≫

➤ アパレル・デザイン部門、ファッション・グッズ部門

\* 応募対象:『ウール大学』(東京、大阪)を受講した美術大学、ファッション系専門学校生

### □協力企業紹介: ニッケ(日本毛織株式会社) (ブース No: J-48)

ウールの一貫生産メーカーとして技術力、企画開発力に裏付けられた高品質、高付加価値、高機能素材をご紹介致します。ニッケの頂上商品「GOLDEN MAF」の他、世界のトップメゾンにも採用いただいている究極素材コレクション「NIKKE PREMIERE VISION Collection」、また梳毛紡績技術を駆使した原糸素材群も加えて「ウールの魅力」、「テキスタイルの真髄」を余すことなく表現致します。



## ■ TOKYO LEATHER PIGSKIN 2015 (ブースNo:J-01)

毎回、JFW-JC の関連プログラムとして開催されてきた Piggy's Special。今回は JFW 間の事業連携として Mercedes-Benz Fashion Week Tokyo において10月14日(火)渋谷ヒカリエ Hall A にてプロ部門(3メゾン)、学生部門(13校)のランウェイが行われた。《来場者数:787名》

今回の JFW-JC2015 では、TOKYO LEATHER PIGSKIN ブース内で、ショーの様相を放映すると共に、プロ部門の製品を展示して、PIGSKIN の素晴らしさと、ファッション性を提案します。

【参加デザイナー／メゾン／作品テーマ】

□中島 トキコ POTTENBURN TOHKII 『チカミチ ヨリミチ マワリミチ』

□岩田 翔／滝澤 裕史 tiit 『tone』 □小野 原誠 motonari ono 『Over the fence』



その他にも、革にフィルムを貼る事で、レースの様なペイズリー柄をナチュラルに表現したものや、迷彩柄もレディスに対応出来るフェミニンなもの、革や合皮にデジタル画像をパンチングしたもの、角度を色々変えたデジタル・カッティング加工されたもの(何れも墨田革漉工業(株))、天然タンニンの人と環境に優しい、ウощャブル・スエードやヌメ革やヌバック(何れも三恵産業(株))、極めの白革(経年変化や厚みの違う革の展示)や日本エコレザー基準の皮革、ジャパンレザープライド・タグの付いた皮革(何れも(株)ニシノレザー)等、バラエティにとんだ皮革を展示します。

## 《新規・復活出展企業》

㈱匠の夢 (ブースNo:J-95)

匠の夢は特殊な整経機と自社で改造した織機を駆使し、他では出来ない大柄の先染め織物を製造することが出来る世界でも数少ないテキスタイルメーカーです。今回は、ミシンで叩きつけた様に見えるながら、全て素材段階で人の手でカットワークした「Hand Works」素材や、収縮率の異なる2種類の糸でチェックに織り、強い凹凸感を表現する「圧縮チェック」、世界でも珍しいセルローズ繊維のほぐし織り「インクジェットほぐし織り」、ウールを Mix した「ウィンターリネン」等、オリジナルテイ溢れる素材を提案します。

東レ合織クラスター 環境配慮型素材分科会 (ブース No:J-42)

10周年を迎えた東レ合織クラスター。今回は環境型対応素材分科会が、①地球環境に優しい「エコ

素材」を利用したものづくり ②製造工程における環境負荷を少なくしたエコへの取り組み ③繊維素材商品を日常生活の中で使うことで地球環境にやさしい節電商品への取り組み、の3テーマで出展する。出品素材は繰り返し洗濯しても、シワや型崩れしにくい植物由来繊維「ナイロン610」を使った素材や、吸湿放水性に優れた快適素材「アクアウイン」等、55点を出品します。

#### 八田経編(株) (ブースNo: J-43)

八田経編(株)は、経編(タテアミ)のダブルラッセル機・トリコット機で生地を開発・製造している。特にダブルラッセル機は、日本でも百数十台程しかありません。また、ダブルラッセル編の3層構造を生かし、表と裏の柄の組み合わせで様々な意匠性・機能性を持たせる事が可能です。同社は外部デザイナーを交え、時代のニーズと感性にマッチした商品の企画開発を行っています。

#### 尙野島刺繍 (ブースNo: J-26)

婦人服を中心にワンポイント刺繍からコード、テープ刺繍、シークイン刺繍などの様々な刺繍デザインと加工を行っています。今回は、創業から培ってきた技術を利用した数多くのオリジナル・デザインの刺繍サンプルを展示し、「MADE IN JAPAN」の素晴らしさを提案します。

### 《注目の出展企業》

#### Bishu Style (ブースNo: J-32)

**御幸毛織(株)**: 厳選された上質原料を使い、ゆっくりと織り上げ、天然石鹼で洗う事で素材本来の風合いを引き出した「ナポレオン」。ミユキの最高級ブランドです。

**(株)パレモ**: 1/48 ウールTopを使った縮絨(クレーター)ガーゼ天竺や、40年前に流行し、現在では希少となったリバージャガード圧縮素材など、画一的なOEM商材とは違った素材を展示。

**早善織物(株)**: 高級獣毛(カシミア、モヘヤ、アルパカ)、差別化ウール、別名、カシミアシルクと呼ばれる「ERI SILK」等、他社には無い優美で特徴的な商品をライン・アップしました。

**(株)ラカム**: 刺繍の可能性を追求するラカム。今回は熱接着できる刺繍、『ムカラ刺繍』をメインに、その延長上に開発した、立体感のある刺繍のコサージュ・ブローチはレディースのみならず、メンズにも人気。

**(財)ケケン試験認証センター**: 今回はケケンが圧倒的な優位性を保持している獣毛試験のご紹介と機能性試験の一部をご紹介します。産地別の獣毛(原毛)を持ち込み、顕微鏡を使った識別の様子等もご覧頂きます。

#### 井上リボン工業(株) (ブースNo: J-18)

創業から66年、細幅織・編物に特化したリボンテープ商品を開発・生産している。今回は新作・定番商品の他に、体の動きに合わせて敵が広がる事で凹部分が見え、大きなビジュアルインパクトを与える「アコーディオ」(特許商品)や、超極細繊維が生み出すグリップ効果によるフィッティングの向上とソフトな肌触りが特徴の「ハイグリップ」等の商品を中心に展示。「付属品を使って製品に付加価値を高めたい」と云うご要望に応えます。

## **Premium Textile Japan 2015 Autumn/Winter 開催概要**

- ◇ 日時 : 2014年11月5日(水)～6日(木)(10:00-18:00)
- ◇ 会場 : 東京国際フォーラム ホール2(2,000 m<sup>2</sup>)
- ◇ 来場者 : バイヤー及び招待者限定 [入場無料]
- ◇ 出展者 : 書類及びスワッチ審査を通過した厳選出展者(団体不可)
- ◇ 後援 : 経済産業省

2015 AUTUMN WINTER



Premium Textile  
Japan

独立行政法人中小企業基盤整備機構 独立行政法人日本貿易振興機構

一般社団法人日本アパレル・ファッション産業協会 日本繊維輸入組合 日本繊維輸出組合

PTJは、付加価値の高い素材を作り出すテキスタイルメーカーと、本物のブランド・商品を市場に提供しているバイヤーとのビジネスマッチングの場として、今回で8回目を迎える。過去7回の好評な開催実績を背景に、今回も過去最高の応募申し込み数を更新した。また、来場者数も回を重ねる毎に増加し5月に行われたPTJは前年同期比108%の5,800人となり、内バイヤーは89.7%と高い比率を維持している。他の繊維・アパレル展が出展者及び、来場者の確保に苦戦している中、PTJは“真剣なテキスタイル・ビジネス商談会”として定着し、業界にとって最も重要なイベントとなっている。



□ **出展状況 : 68件/ 93.5小間** (PTJ2014AW 実績: 64件 / 90小間)

ゾーン		件数	小間数
A	織物短繊維(コットン、麻、ウール、複合)	25	30.5
B	織物長繊維(化合繊、シルク、機能素材、複合)	19	31
C	染色・後加工、プリント、刺繍・レース、皮革	15	16.5
D	服飾資材、ニット、撚糸、パイル	9	15.5
合計		68	93.5

\*内 海外出展: 2社/2小間 (香港、インド)

**【新規・復活出展者】**12件/12小間

浅記(株)、オカモト商店(株)、内外織物(株)、ケイター・テクシーノ(株)、  
(株)デザインハウス風、(株)野崎染色、北高(株)、(有)ライズ、  
(有)ワダノブテックス、(有)ヴィオレッタ、(株)サンファッション、  
(株)長谷川商店



## □ PTJ インデックス・コーナー

出展ゾーン別(A、B、C、D)に、今シーズンの各社一押し素材をINDEXとして編集・展示。来場者を各社ブースへ誘引します。

展示数:246点 (テキスタイル 181点、服飾資材 65点)



## □ ビジネスマッチング・プログラム

<JFW 招待バイヤー + 国内出展者マッチング>

JFW 招待バイヤーを組織し、会期中に参加企業とのマッチングを個別専用商談室でマッチングを行うビジネスマッチング・プログラム。PTJの要をなすプログラムとして、より内容の濃い商談を実施します。今回は大手アパレル・リテール4社と JFW 参加の4メゾンが JFW 招待バイヤーとして参加、PTJ 出展企業からは20社が参加して41件(本番:36件/プレのみ:5件)のマッチングを行います。

【アパレル、リテール企業:ブランド】

- ◆株式会社サンエー・インターナショナル : JILL STUART
- ◆株式会社東京スタイル: NATURAL BEAUTY
- ◆株式会社レナウン: CHARGE
- ◆株式会社イタリー: Pink Champagne



【デザイナーメゾン:ブランド/デザイナー(所属企業名)】

- ◆mame / 黒河内 真衣子(株式会社黒河内デザイン事務所)
- ◆lessthan\*・MIDDLA / 安藤 大春(有限会社レスザン)
- ◆Sise / 松井 征心(株式会社 S.I.S.E.)
- ◆YASUTOSHI EZUMI / 江角 泰俊(株式会社 Ri Design)



## 《新規・復活出展企業》

浅記(株) (ブース No: A-25)

創業145年という長い歴史と伝統を持ち、産地内で一貫生産を行う浅記。新潟産地ならではのスペックムラ染を使用したカジュアル素材や、フィラメントとスパンを組み合わせた天然繊維～化合織までの複合素材で、カジュアル感～エレガンス感を融合表現した物作りが可能。シーズン毎に、自社企画のオリジナル素材をリスク生産し、ストックしています。

㈱ワダノブテックス (ブースNo:C-4)

ワダノブテックスは、トーションレースを色々なテキスタイル素材、部品と捉え、その1種1種の形状の組み合わせをする方法を確立し、現在、パリの手元メゾンとの取引も始めています。今回は、モノトーンの様々なチェック・レースの組合せた「チェッカーモノトーン」や、メッシュの中のカラー配置で色々な角度を作り出す「カラードゥメッシュ」、丸いレースの繋がりにフェザー仕上げをする事で単純な幾何柄に付加価値を与える

「まるまるレース」等、圧倒的なオリジナリティ溢れるレースを提案します。別注対応では、糸材料が入荷すれば打合せから8日間で試作を開始します。

#### **㈱デザインハウス風**（ブースNo: C-12）

プリントのデザイン性と生産において、完成度の高さで有名な同社。創業以来のアーカイブは、10,000 点に及びデザイン資料がデータ化され、著名デザイナーのクリエイションに大きく貢献してきました。今回は、Design in Kyoto／Printed in Kyoto をコンセプトにした手捺染と、小松精練との協業による最先端のインクジェット・プリントに様々な後加工を加えた素材を出品します。

#### **ケイター・テクシーノ㈱**（ブースNo: B-7）

スポーツ・婦人・ユニフォーム・資材の分野で培われた素材加工技術と、織・編物の設計技術を活かして、合織でしか表現できない味わい(機能・感触・面白さ)のあるテキスタイルを創造しています。「KANTIAN」(カンティアン)は、機能素材の産地、北陸・福井で開発され生まれた世界最高峰のオリジナル素材です。耐水・撥水・吸汗速乾・ストレッチ感・保温・涼感など、アパレルに期待される機能が明確に唱えます。

### **《注目の出展企業》**

#### **井原デニム**（ブースNo: A-3）

日本綿布(株)、クロキ(株)、吉河織物(株)の備中の有力デニム企業が連携し、産地ブランド“井原デニム”として出展。

**日本綿布(株)**: 今回出品するのは、デニムの裏面の色変化を付ける「デニムボーダー・セルビッチ」、からみ織による表面変化を付けた「からみドビー・セルビッチ」、Pure Indigo の濃色バージョン「セルビッチ・デニム」など、セルビッチに拘った素材群を出品。

**クロキ(株)**: 最新技術による W クロスデニムと、セルビッチ(シャット織機)による伝統の技術織り、「Latest & Tradition」を出品します。

#### **高野ロパイルファブリック**（ブースNo: D-5）

世界にも他に類のないパイルファブリック産地の高野口。「KOYAGUCHI PILE」は、基布にパイル糸が織込まれ、あるいは編込まれた3次元構造の特殊な構造上、毛抜けが少なく、ピリングが起り難いという利点があり、また温かさ、柔らかさ、独特の風合い・豪華さを兼ね備えています。アパレルは勿論、インテリアや産業資材等、単一産地としては驚くほど様々な分野に使用されています。今回は産地精鋭の8社が出展します。

#### **クリエイト津島**（ブースNo: A-21）

尾州産地、津島地区で企画、販売を手掛ける企業グループ「クリエイト津島」。今シーズンは、希少価値の獣毛や細番手紡毛糸を使って高密度ながら膨らみがあるWフェース素材や、Super100's 以上の高級原料素材をクリア仕上げから縮絨まで様々な加工を施した素材と、様々な原料を Mix した複合素材など、

高い職人技術により作られた素材を提案します。

**オガワテキスタイル(株)** (ブースNo: A-18)

ウールを中心にコットン、リネン等の天然繊維を主体とした生地と、ポリエステル、レーヨン、アクリルの短繊維織物、またそれらの複合織物を得意としています。梳毛、合織の細番手から、紡毛、ファンシーヤーン使いの特殊織物まで、生産アイテムは多岐に渡る。また、小ロット・短サイクルの要望に応えられる様に数千種類の生地を在庫販売している。

**(株)ヴィオレッタ** (ブースNo: D-4)

国内ラッセルレース業界の草分け的存在であるヴィオレッタは、主にインナー素材を主力としていますが、今回は長年培ったストレッチインナーの知識を、アウター商材に生かし、展示会で提案させていただきます。また、ピエゾ・ジャガード機構で表現したストレッチはもちろん、ノンストレッチ、後加工でもメイドインジャパならしさを意識し、物作りに取り組んでいます。

~~~~~

## <2015 年度 JFW テキスタイル事業実施予定>

### 【海外】

「The Japan Observatory」at Milano Unica 2016 Spring/Summer

◇ 日時 : 2015年2月4日(水) - 6日(金) 9:00AM - 6:30PM

◇ 場所 : Fiera Mirano City Hall3

Intertextile 上海 Apparel Fabrics「Japan Pavilion」2015 Spring Edition

◇ 日時 : 2015年3月18日(水) - 20日(金) 9:00AM - 5:30PM

◇ 場所 : 中国博覧会展総合体 (CHAINA EXPO COMPLEX) \* 新会場

### 【国内】

Premium Textile Japan 2016 Spring/Summer

◇ 日時 : 2015年5月27日(水) - 28日(木)

◇ 会場 : 東京国際フォーラム 展示ホール2

Premium Textile Japan 2016 Autumn/Winter

◇ 日時 : 2015年11月25日(水) - 26日(木)

◇ 会場 : 東京国際フォーラム 展示ホール2

JFW JAPAN CREATION 2016

◇ 日時 : 2015年11月25日(水) - 26日(木)

◇ 会場 : 東京国際フォーラム 展示ホール1